

# 学校給食は安全か



若園ひでこ議員

【議員】食材高騰への工夫や努力にも限界がある。給食費値上げの考えは、【教育部長】値上げをしないように、最大限の努力をしている。総合的に検討しなければいけない。

【議員】物価が落ち着くまで給食費に公費を投入してはどうか。

【教育部長】高騰の状態を見極めながら検討する。現在は考えていない。

【議員】学校給食の安全にはより一層の注意が必要な世相のように対処しているのか。

【教育部長】加工食品はサンプルを取り寄せ、試食をして決定。賞味期限の確認や産地証明の取り寄せ、目視での確認などを実施。中国食材は使用していない。

## 東郷町のふるさと納税

【議員】この制度の東郷町へのプラス面・マイナス面はどうか。

【総務部長】プラス面は、住民の税金へのイメージが自発的なものに変わること。マイナス面は、税収の減になること。

【議員】特定健診（メタボ健診）の結果を医療費抑制につなげていくか。

【健康部長】必要のある方には生活習慣を改善するための動機付け支援を行う。

【議員】ジェネリック薬品についての考えは。

【健康部長】医療費抑制に、重要で効果的な方法。

【議員】普及の方法は。

【健康部長】やはりPRが第一と考える。

【議員】被保険者の私たちも助かる。ジェネリック薬品の説明やメリット啓発を、使用希望カードを町民へ個別送付し、普及をはかっています。

【健康部長】カードについては考えていないがあらゆる機会を通じて、啓発をしていきたい。

# 公会計制度改革への対策を



井俣憲治議員

【議員】公会計改革と自治体財政健全化法がスタートする。本町の対応は。

【総務部長】今回の改革と法施行は連結ベースで財政状況を把握し、財政状況を総合的・長期的に把握することを目的としている。本町でも民間企業並みの決算書を作成し、対応していく。

【議員】監査の重要性が一層高まる。外部監査導入を検討してはどうか。

【町長】費用対効果もあるが監査の重要性は重く見ている。内部監査の充実と共に、監査事務局の設置も検討している。

## 子ども医療費

【議員】子ども医療費の助成を拡大した場合、財政への影響はどれだけの。

【町長】財政脆弱な本町では、投資的経費が2億ほどしかない。助成拡大すれば、他の事業の中止・縮小を考えねばならなくなる可能性がある。

【議員】財政のバランスを考慮いただき、子ども医療費助成事業拡大を。

【議員】現在の職員数は。

【企画部長】267人。職員一人当たり人口は158人と、県下26町村のうち下から2番目となっている。

【企画部長】50代の職員が全体の1/3を占める。来年から3年で33人、全体の1割強が定年となる。

【議員】20年度は19人の採用計画その理由は。

【企画部長】退職者の増加によるサービス低下を防ぎ、地方分権による事務委譲に対応するため。

## ホテル問題

【議員】中ノ杵地区のラブホテル問題の現状は。

【総務部長】相手方と立入り検査をすべく、2ヶ月間隔で対話している。

# 地域活性化のため 納涼盆踊り・文化産業まつりは継続する



水川 淳議員

【議員】文化産業まつりや盆踊りでの民間主導の企画・運営をどう思うか。

【企画部長】町民との協働の場合はもちろん、町民主導の場合も連携をとり支援すべきと考える。

【議員】各種団体への助成の考え方は。

【総務部長】統一基準はない。交付要綱に基づき予算内で必要なものに交付している。効果が薄くなった、代替制度ができた、当初の目的を達した、情勢の変化で効果が期待できなくなった、などの場合は、担当部局の判断で減額や廃止を検討する。

【議員】地域活性化への民間有志の掘り起こしは。

【企画部長】町民活動センターを通じて、各種施策を講じている。町民活動センターについても、いこまい館見直しの中で充実をはかっています。

## 行政サービスに住民は満足しているか

【議員】住民満足度の基準をどう考えているか。

【企画部長】多岐分野、多岐項目に渡るため、すべてで満足を得るのは難しい。重要度と満足度との兼ね合いが重要だ。

【議員】1階の役場窓口を総合的窓口にしては。

【企画部長】課題も多く、現段階では考えていない。

【議員】いわゆる「たらい回し」の対策は。

【企画部長】必要書類の例示を表記した案内文書を手渡し、不快な思いをしないよう対応している。

【議員】21年度新規採用が突出して多い。育成を含めて計画的か。

【企画部長】退職補充を中心として、慎重な採用に努めている。

【議員】経験者・専門家などの登用は、どう行っているのか。

【企画部長】各部署からの意見も取り入れ、採用できるように考えていきたい。

# 子ども医療費の小学3年生までの無料化を



山田達郎議員

【議員】子供医療費以外にお金を使ってくれという地域の要望もあるが、現在、核家族化の進行、家庭や地域の子育て機能低下、女性の社会進出など、社会環境の変化に伴い少子化対策がさかんに言われる。他市町は子ども医療費無料化が進んでいる。財源の問題もあるが、当町でも、抵抗力の少ない小学3年生まで、なんとか無料化できないか。

【町長】無料化については過去に何度も質問を受けた。6月議会では、議会サイドでも、子ども医療費助成制度の拡大を求める意見書を愛知県に対して提出されるなど、議会の熱意を感じている。子ども医療費助成の小3までの拡大実施について、担当部課長に指示する。

## 財政改善に 企業誘致を

【議員】厳しい財政状況を改善するため、あらゆる対策を行うことが必要だ。雇用を拡大し税収を増やす上でも、企業誘致は重大な課題。同時に町内企業流出を防ぐ対策を。

【経済建設部長】本年7月、市街地調整区域内での工場立地開発行為の許可基準改正など、制度の見直しが行われた。現在、それらの見直された制度を踏まえ、調査している状況である。

【議員】放課後子どもプランについて、進捗状況と問題点は。

【教育部長】10月16日に開所式。指導員は10人で、授業に支障のないように実施していく。

【議員】学校側は場所を提供しているだけ。苦情対応が校長の責任にならぬよう、規約など保護者に説明をしっかりやってほしい。

【教育部長】説明していく。

## 放課後子どもプラン